

第三者割当増資により 95 億 8,416 万円を調達

～新世代構造タンパク質素材の大規模普及に向け事業加速～

Spiber(スパイバー)株式会社(代表執行役:関山和秀、本社:山形県鶴岡市覚岸寺字水上 234-1)は、新世代構造タンパク質素材の研究開発および大規模普及に向けた体制構築推進のため、Spiber と事業的シナジーのある事業会社を引受先とする第三者割当増資を実施し、総額 95 億 8,416 万円(株式会社ゴールドウインからの出資 30 億円を含む。その他引受先は非公開)を調達いたしました。増資後の資本金は 73 億 2,666 万円(資本準備金 73 億 1,666 万円)となります。

【Spiber株式会社について】

慶應義塾大学先端生命科学研究所にて、関山和秀(当時慶應義塾大学環境情報学部 4 年)及び菅原潤一(当時慶應義塾大学環境情報学部 2 年)が 2004 年から研究をはじめ、このシーズをもとに、革新的バイオマテリアルである「合成クモ糸繊維」の世界初の実用化を目指して 2007 年 9 月に、関山の高校時代の同級生である公認会計士の水谷英也の 3 人によって設立された研究開発型バイオベンチャー企業。クモ糸由来のタンパク質(フィブロイン)をベースに、そのアミノ酸配列、遺伝子配列情報を自由自在に改変または人工合成する技術を確立。さらに、高効率発酵生産技術、紡糸技術を独自に開発し、これまで不可能とされてきた天然クモ糸レベルのタフネスを有する「合成クモ糸繊維」の創出に成功している。今回の増資を含め、これまで大手ベンチャーキャピタルであるジャフコ等の投資家より 146 億円超の資金を調達。

また、Spiber 本社がある鶴岡市及び山形県、経済産業省、東北経済産業局、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、中小企業基盤整備機構の大きな支援を頂きながら、研究開発を進めて参りました。2012 年、経済産業省直轄プロジェクト「革新的バイオマテリアル実現のための高機能化ゲノムデザイン技術開発」に採択され、高機能遺伝子デザイン研究組合(TRAHED)に参画し、本研究開発に取り組んでおります。また、NEDO の「イノベーション実用化ベンチャー支援事業」に、2 年連続で採択され、研究開発をこれまで以上に推進して参りました。また、2014 年、内閣府創設の「革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)」における個別研究開発プログラム「超高機能構造タンパク質による素材産業革命」にて、Spiber はコア研究組織として指名選定されており、その他さまざまな参画機関とともに研究開発を進めています。

代表者: 代表執行役 関山和秀(1983 年 1 月 2 日、東京生まれ)

所在地: 山形県鶴岡市覚岸寺字水上 234 号番地 1

設立: 2007 年 9 月 26 日

資本金: 73 億 2,666 万円

従業員数: 85 名

事業概要:

・新世代バイオ繊維開発事業

- バイオ繊維素材開発プラットフォームによる新素材デザインシステムの研究開発
- 有用タンパク質量産システムの研究開発

・DNA 情報記録技術を用いた各種サービスの提供

- 微生物の標識を目的とした DNA タグ技術「CELL-ID™」の研究開発及びサービス提供

沿革:

- 2007年 9月 スパイバー株式会社を設立(資本金10,000千円)
- 2008年 5月 鶴岡市先端研究産業支援センター内に研究所を開設
- 2008年 6月 第1回増資(資本金15,000千円、資本準備金5,000千円)
本店登記を現在の住所に変更
- 2008年12月 第2回増資(資本金20,000千円、資本準備金10,000千円)
- 2009年 5月 第3回増資(資本金25,000千円、資本準備金15,000千円)
- 2009年 8月 第4回増資(資本金150,000千円、資本準備金140,000千円)
- 2009年12月 第5回増資(資本金175,050千円、資本準備金165,050千円)
- 2011年12月 第6回増資(資本金380,330千円、資本準備金370,330千円)
- 2013年 4月 第7回増資(資本金780,330千円、資本準備金770,330千円)
- 2015年 3月 第8回増資(資本金2,055,330千円、資本準備金2,045,330千円)

Spiber(スパイバー)株式会社: <http://www.spiber.jp/>